事例No.	2709
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	岡崎　正信

事例区分	地域活性化

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・公共施設活用 ・関係人口

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

岡崎　正信

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

個人表彰

岡崎　正信　　岩手県紫波町

地域経営改革　まちなか再生　その他（公民連携）

概　　要

紫波町は、平成10年にJR紫波中央駅前の土地10.7haを取得。それから約10年にわたり財政難を理由に塩漬け状態としていた。

平成19年に公民連携の手法を取り入れ、町民の財産である町有地を有効活用し、財政負担を最小限に抑えながら公共施設整備と民間施設等の立地による複合的な経済開発を行うことを目的に始動したのがオガールプロジェクト（紫波中央駅前都市整備事業）である。

紫波町は「民間に投資の機会を委ねる」覚悟を決め、岡崎氏はPPPエージェントとして、市場原理に基づきながら公民連携手法を駆使し、都市と農村の結びつきを創造してきた。



【岡崎　正信　氏】

評価された点

・紫波町「オガールプロジェクト」の民間側の中核的存在。 民間主導型公民連携事業として、視察数は全国一で、先進性、独自性、継続性、とも卓抜しており、今後の発展にも期待できる。
・紫波町の取組を全国に広めた本人であり、官民連携手法で、駅前の活性化に取り組み、多くの雇用と関係人口を増加させており、表彰に値する。
・従来、採算面において弱点のある公共施設を「稼ぐインフラ」として官民区分所有施設にし、資金を循環させる手法は公共施設の維持管理手法として先進的である。加えて、プロジェクト・ファイナンスを取り入れることにより、新たな取組を考える人々が参入しやすい環境が創出されている。
・行政と民間企業が取り組むプロジェクトとしては、最高のモデル事業。エリアの年間利用者数の増加と定住人口の増加につながっており評価できる。



【オガール広場】



【オガール市】